

青函圏から全道へと広がるさまざまな魅力、発見&再発見。



ご当地グルメ探訪

地元のごちそう

にしん漁で栄えた昔を偲ばせる

にしんそば (江差町)



「江差の五月は江戸にもない」にしん漁で栄華を極めた江差の歴史を今に伝える味。

京都の名物料理のルーツは、北前船で運ばれたにしん。日本を代表する民謡「江差追分」や、北海道最古の歴史と伝統を誇る「姥神大神宮渡御祭」で有名な江差町。かつて、にしん漁で「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどの活気に満ちていました。その当時から今に伝わる郷土料理のひとつが「にしんそば」です。京都名物としても知られていますが、江差から北前船で運ばれた身欠き



にしんで作られたもので、もとのルーツは江差ではないとも言われています。昔ながらの味を守りつつ、にしんの新しいメニューも上品な味付けでやわらかく煮付けられたにしんの甘露煮と、出汁のきいた汁が、蕎麦と絡み合う絶妙なハーモニー。江戸情緒に満ちていました。江差情緒今に伝わる郷土料理のひとつが「にしんそば」です。京都名物としても知られていますが、江差から北前船で運ばれた身欠きにしんで作られたもので、もとのルーツは江差ではないとも言われています。昔ながらの味を守りつつ、にしんの新しいメニューも上品な味付けでやわらかく煮付けられたにしんの甘露煮と、出汁のきいた汁が、蕎麦と絡み合う絶妙なハーモニー。江戸情緒に満ちていました。江差情緒今に伝わる郷土料理のひとつが「にしんそば」です。京都名物としても知られていますが、江差から北前船で運ばれた身欠き

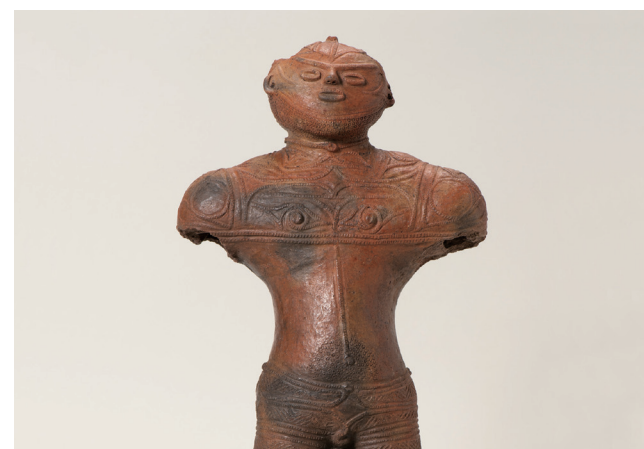


歴史と文化の温故知新

ふるきをたずねて

海を渡って交流した縄文人たち

北の縄文文化

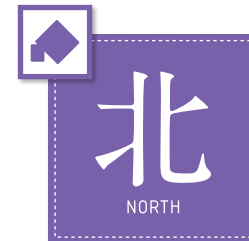


北海道初の国宝「中空土偶」に代表される、北海道と北東北の縄文文化を世界遺産に。

高い精神性と芸術性を持ち、1万年も続いた北の文化。はるか昔、北に花開いた縄文文化。自然と人間が共生し、大きな争いもなく1万年も続いた貴重な文化として世界でも注目されています。様々な文様や装飾を施した土器や、儀式に使われたと考えられる土偶など、縄文人たちは高い精神性と芸術性を持ち、豊かな生活をしてきたことがわかっています。日本最大級の縄文集落跡である青森県の「特別史跡三内丸山遺跡」から発掘された「中空土偶」は北海道初の国宝となりました。先人たちの英知に学び、津軽海峡を越えた交流を現在「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」として世界遺産登録を目指した取組が進められているように、津軽海峡を挟んだ道南と北東北は古代から交流が盛んで、共通の文化圏が広がっていました。北海道新幹線開業を機に、私たちにも先人に学んだ活発な交流が期待されています。



特別史跡三内丸山遺跡



道内各地の取り組みをご紹介します

オール北海道

北海道新幹線応援隊

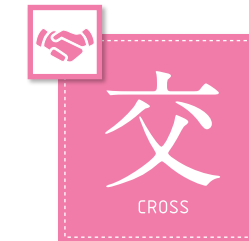
「Dounan Dream☆Team!」



北海道新幹線開業を盛り上げるため、道南地域で多彩なメンバーが活動中!

暁月めぐみさんをキャプテンに、気運を高めるために活動中。北海道新幹線応援隊「Dounan Dream☆Team!」(道南ドリーム☆チーム!)をご存じですか? 渡島総合振興局と檜山振興局が、北海道新幹線の開業に向けた気運や連帯感を盛り上げることを目的に結成したものです。愛称の「DUN46」は、平成24年度末の道南地域(渡島・檜山)の総人口が約46万人ということにちなんでいます。平成25年11月22日に結成記念イベントが開催され、応援隊キャプテンには函館出身の歌手・暁月めぐみさんが任命されました。

渡島総合振興局
ドリームチームのページ
<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/dreamteam.htm>



青函圏の新商品開発

握手をしよう

地域活性化をリードする老舗

五島軒「函館ロール」



青森産りんごと七飯産りんごを使用した、青函交流の象徴的ロールケーキ。

「青函活性化ファンド」の第1号案件に選ばれる。函館市末広町の老舗レストラン「五島軒」では、青函両地域のりんごを使ったロールケーキ「函館ロール」をはじめ、青森県産の食材を使用した商品の製造・販売に力を入れています。商品増産のための急速冷凍機の導入や本店売店の拡張には、北洋銀行と青森銀行が共同で創設した「青函活性化ファンド」から調達した資金が利用されました。函館ロールは、このファンドの第1号案件として採用されたものです。新たな新幹線時代を迎え、青函連携の起爆剤に。北海道新幹線開業を見据え、4年前から発売されている函館ロー



ルがイメージしているのは青函トンネル。「青函」ということで、上に青森産りんご、クリームの中に七飯産りんごを使っています。新しい時代の青函連携を象徴する商品に育てたいですね」と語る若山直社長は、北海道新幹線開業PRIにも積極的です。7月19日にグランドオープンした本店売店では「青函コーナー」も充実。「地域をリードしていくのが老舗の役目」という五島軒の取り組みに、今後も注目です。